



コツさえ わかれれば

一人でも かんじの学習が たのしくなりますよ

かんじの 森もり

みんなは、^{かんじ}漢字が すきかな？

漢字は「つみき」のように できているホ～

楽しんで 読んだり 書いたり、してみようホ～



かん字のうた

川崎洋

林 がありました

木 がふえて

森 になりました

人 が

木 によりかかって

休 んでいます

(中略)

田 んぼで

力 をいれたら

男 になりました

(以下略)

どうだった？

みんなの ^{なまえ}名前は、どんな ^{くみあ}組み合わせで できた
漢字が つかわれているかな？

ドリルで練習するときは、前から順番にやっていくやり方、好きな漢字から やっていきやり方、まとまりごとにやるやり方、どのやり方でも、いいホ～



ここからは、漢字のまとまりの しょうかいホ～

「^{かんじ}漢字の^{かた}でき方」を見て、このまとまりで 漢字
を おぼえていくのも いいホ～



^{かんじ}漢字の^{かた}でき方 (お家の人と いっしょに 読んでね)

参考：白川静博士の漢字の世界へ

文字の しゅるい	せつめい	1学期の かん字	2. 3学期
象形文字 (しょうけいもじ)	そのものズバリの字 ものの形をかたんな「 ^え 絵」でかき表し、できた漢字。漢字を見た ^{いみ} だけで意味が分かる。	雪行南方肉黄毛夏回長 会丸岩刀内魚元公羽万 鳥	冬走角楽馬牛 午弓京戸原工 交合谷市止矢 才自首心食弟 半番米母門用 来毎
指事文字 (しじもじ)	印(しるし)を付けて表す字 絵にかき表せないものを、点や線を使って、その性質(せいしつ)や意味を示した。およそ130字ある。		(上下など)
会意文字 (かいいもじ)	組み合わせで表す字 象形文字や指事文字を2つ以上組み合わせ、べつの意味や発音(はつおん)を表す。	春言書囟分切歩教前色 黒高形多数同後買光知 室友	引家直画外間 帰強弱兄古国 算新親声台昼 朝電道麦売父 北明鳴夜秋計
形声文字 (けいせいもじ)	音と意味を合わせて表す字 2つ以上の漢字を組み合わせ、一方は意味を、もう一方は読みを表した漢字。漢字全体の80%は形声文字。	読思話雲園絵海汽記曜 聞太風晴体近広社店姉 妹線点考組通頭	遠科何歌活顔 語紙寺細作時 週場星船地茶 当答野理里
転注文字 (てんちゅう)	^{さんだんろんぽう} 三段論法の手法で表す字。ひとつの漢字の意味を、他の近い意味をあらわすのに ^{てんよう} 転用した漢字。		
仮借文字 (かしゃもじ)	当て字で表す字 漢字の意味に関係なく、読み方を借りたもの。	今 西	東



学校が はじまるまで 文につかやすい ^{かんじ}漢字から
 やってみると いいホ～
 どれかえらんで 文をつくってみよう。

つかいやすい 漢字

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
行	少	多	半	万	父	母	刀	牛	春
行く 急行	少ない 少年	多い 多少	半分 春も半ば	百万円	お父さん 父母	お母さん 母乳	小刀 日本刀	子牛肉	春休み 春分の日
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11
合	思	心	言	会	今	外	工	切	分
合う 合計	思う 思考	心づかい 安心	言う 方言	会う 朝会	今まで 今月	外がわ 外国人	図工	切る 親切	分ける 三十分

たとえば、

どうかな？ 漢字を えらんでみよう



** 「母」 「父」 「少」 「思」 を使うと

⇒ 「^{ちち}父と^{はは}母が^{おも}思うことは、^{すこ}ぼくが思うこととは少しちがいます。」

*** 「心」 「思」 「言」 「多」 「少」

⇒ 「^{こころ}心で^{おも}思うことと、^い口で^{たしょう}言うこととは多少ちがいます。」

**** 「牛」 「半」 「分」 「切」

⇒ 「^{ぎゅう}牛にくを^{はんぶん き}半分切ってもらいました。」

ここに 文を かいてみてね

一日 2文字ずつ すすめられと いいですね。

じゅんばん	れんしゅうする ^{かんじ} 漢字	ドリル ばんごう	やったチェック
1	言	3	
2	行	3	
3	春	7	
4	分	7	
5	思	11	
6	多	18	
7	今	27	
8	会	27	
9	刀	27	
10	切	28	
11	体	23	
12	回	30	
13	歩	30	
14	元	34	
15	友	41	
16	光	35	
17	風	17	
18	太	16	
19	書	4	
20	知	35	
21	方	7	
22	高	17	
23	長	23	
24	前	34	
25	話	12	